



全標協発第34号

平成26年10月14日

国土交通省自動車局長

田端 浩 殿



一般社団法人全国自動車標板協議会

会長 山下 邦 勝

図柄入りナンバープレート制度導入についての当協会の意見

拝啓、時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、先般、貴局におかれては、交通政策審議会陸上交通分科会自動車部に小委員会を設置され、図柄入りナンバープレートの導入など、自動車行政の新たな展開の方向性についての議論を開始されたと伺っております。

当協会が独自に調査したところでも、図柄入りナンバープレートについては、アメリカ、カナダ、オーストラリア等の海外諸国において既に導入が行われており、中には、ナンバープレートの交付にあわせて寄附金を収受し、観光振興や地域振興などの様々な目的に活用していると承知しております。

我が国においては、ご当地ナンバーが合計29地域で導入（予定を含む。）されているほか、登録車における希望ナンバー制度の利用者が全交付ナンバーの約4割にのぼることを踏まえれば、図柄入りナンバープレートへの関心やその活用の可能性は相当程度高いものと考えられ、その積極的な導入が望ましいと考えます。

当協会としても、図柄入りナンバープレートにより社会の幅広いニーズに対応することで、ナンバープレートへの関心が高まるとともに、寄附金による社会還元に寄与する役割を積極的に果たして参りたいと考えっております。

敬具